



令和7年12月

～学校教育アンケート結果～



日頃は本校の教育活動にご理解やご協力をいただきありがとうございます。

さて先日、実施した学校教育アンケートの結果をお知らせします。この結果を踏まえ、更に本校の教育活動を充実したものにしていきたいと考えておりますので、引き続きご理解・ご協力をよろしくお願ひします。

アンケート概要 回収率（児童97% 保護者81% 地域69人）※12月中旬実施



できている



大体できている

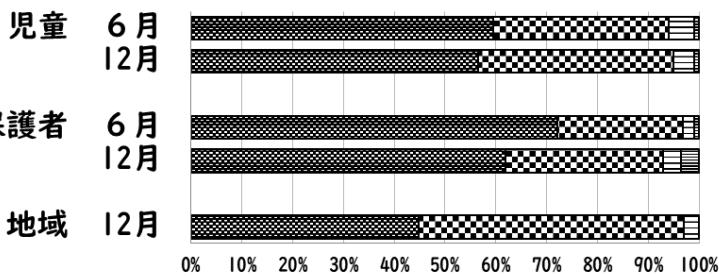


あまりできていない



できていない

1. 学校で楽しく過ごせている



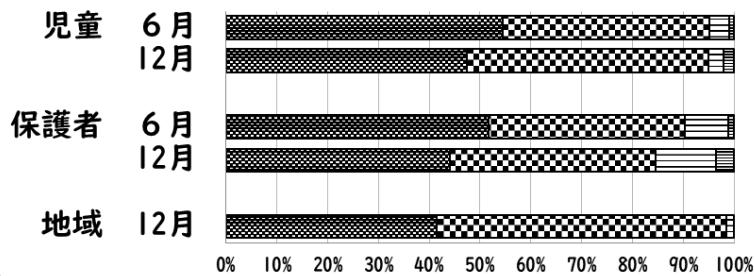
肯定率
(12月)

94%

93%

97%

2. 勉強を頑張っている



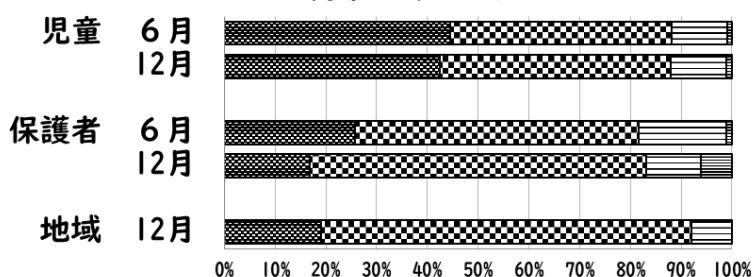
肯定率
(12月)

95%

85%

99%

3. 授業内容が分かっている



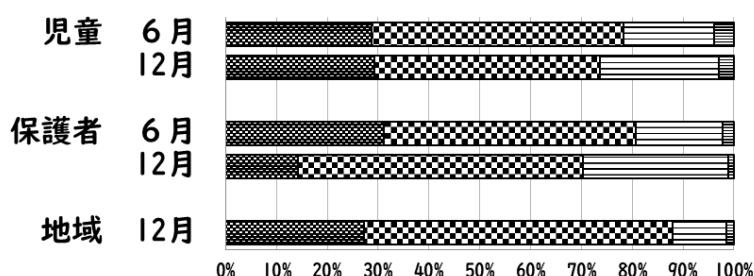
肯定率
(12月)

88%

83%

92%

4. 自分の思いを相手に伝えることができる



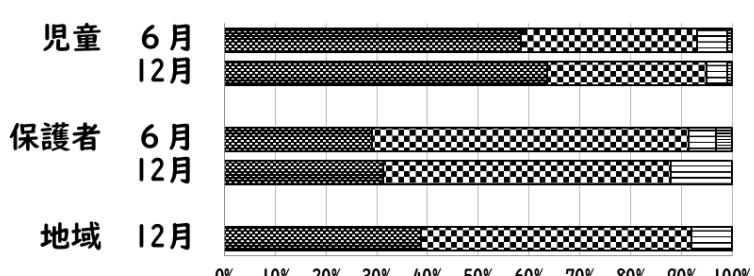
肯定率
(12月)

74%

70%

88%

5. コンピューターを使った勉強が分かっている



肯定率
(12月)

95%

88%

92%

結果と考察

質問1

・児童・保護者・地域いずれも肯定率は9割を超えており、学校生活を概ね楽しく送っている。
→一方で保護者の肯定率は低下しており、児童一人一人の様子を丁寧に把握していく必要がある。

質問2

・児童の肯定率は高いものの、保護者の肯定率は低下しており、受け止めに差が見られる。
→学校での学習の成果や過程を、より分かりやすく発信していく必要がある。

質問3

・児童・保護者ともに肯定率は8割台にとどまり、「少しそう思う」が多い傾向が見られた。
→授業内容を「分かった」と実感できていない児童が一定数いることが課題。分かる喜びを実感できる授業づくりや、個に応じた支援の充実が求められる。

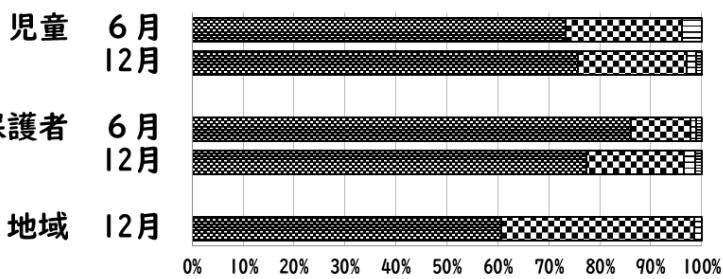
質問4

・児童・保護者ともに肯定率が低下しており、全項目の中でも課題が大きい。
→自分の考えや気持ちを言葉で表現する力が十分に育っていない。授業や日常生活の中で、安心して意見を伝えられる場面・環境づくりが必要。

質問5

・児童の肯定率は高い一方、保護者ではやや低下が見られた。
→ICT活用の目的や学習効果が家庭に伝わりにくい面がある。どのように学びに生かしているのかを、より丁寧に説明していく。

6. 学校行事に意欲的に取り組むことができている

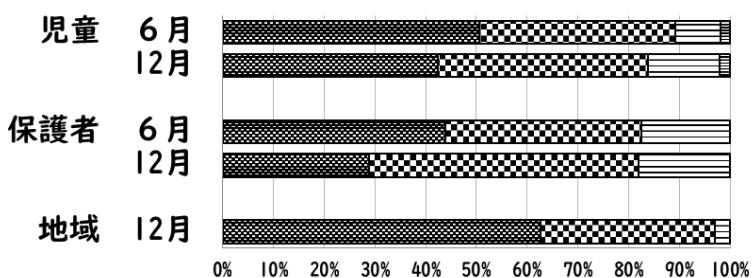


結果と考察

質問6

- ・児童・保護者・地域すべてで非常に高い肯定率。
- 学校行事を通して、達成感や協力する力が育っている。今後も行事の意義を大切にしながら継続する。

7. 地域の人に気持ちの良い挨拶ができている

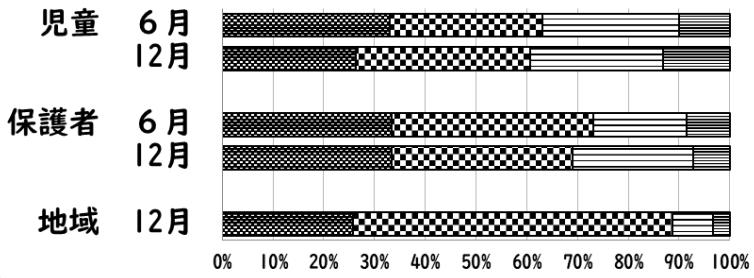


肯定率(12月)

質問7

- ・地域の評価は高いものの、児童・保護者の肯定率は低下傾向。
- 挨拶の大切さは理解していても、日常的な実践につながっていない。学校・家庭・地域が連携した継続的な指導が必要。

8. 「早寝・早起き・朝ごはん」ができている

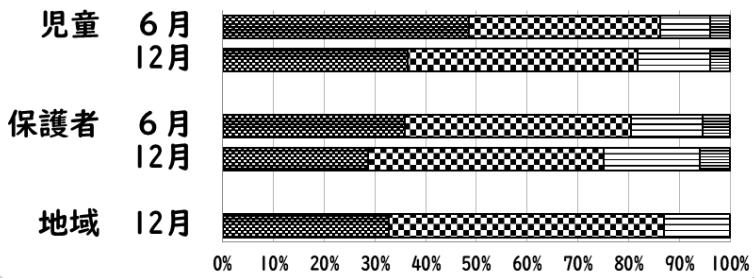


肯定率(12月)

質問8

- ・児童・保護者ともに肯定率が低く、生活習慣に関する大きな課題がある。
- 生活リズムの乱れが、学習や体調面に影響を与える可能性。家庭との連携を強め、生活習慣の改善に取り組む必要がある。

9. 家庭学習の習慣（読書や宿題など）が身に付いている

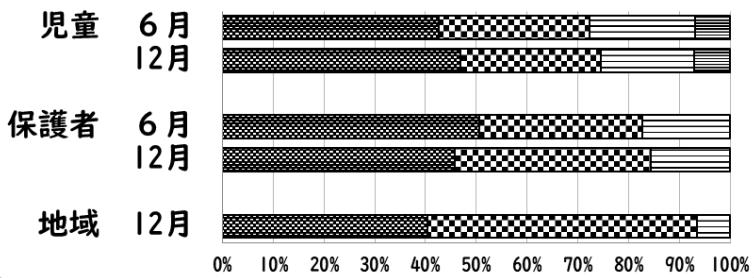


肯定率(12月)

質問9

- ・児童・保護者ともに肯定率が低下しており、家庭学習の定着が十分でない。
- 学年や個人差が大きく、学習の仕方が定まっていない児童も多い。

10. お家の人と学校のことをよく話している

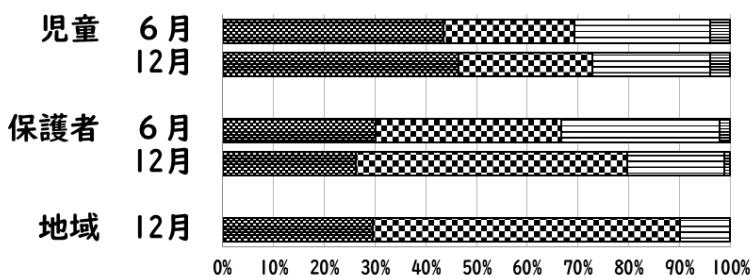


肯定率(12月)

質問10

- ・保護者・地域の肯定率は高いものの、児童の肯定率は7割台。
- 学校生活の出来事を自分から話す力や機会が十分でない可能性がある。日々の振り返りや対話の場を大切にしていくことが課題である。

11. 自分自身のいいところを知っている



肯定率(12月)

質問11

- ・6月から肯定率は上昇しているが、依然として「あまりそう思わない」と回答する児童が多く見られる。
- 自己肯定感の育成は引き続き重要な課題。成功体験を積み重ね、自分の良さに気付ける支援を行っていく必要がある。